

【別紙 1】

建設現場の「快適トイレ」設置の試行実施要領

1 目的

農林水産省では、建設現場を男女ともに働きやすい環境とするため、ワーク・ライフ・バランスを推進できる環境整備を進めており、その一環として、男女ともに快適に使用できる仮設トイレ（以下、「快適トイレ」という。）を導入し、職場環境を改善している。

農地部としても、ワーク・ライフ・バランスの推進により職場環境の改善が図られ、女性のさらなる活躍や新たな入職者の増加につながるなど、担い手の確保に寄与すると考えられることから、建設現場への快適トイレ設置を本要領により試行する。

2 試行対象工事

- (1) 当初設計額が70,000千円以上の工事
ただし、工場製作などの屋内作業が主となる工事を除く
- (2) 当初設計額が4,000千円以上70,000千円未満（受注者希望型）で受注者が希望した工事

3 試行内容

対象とする「快適トイレ」はレンタル（リース）品とする。

快適トイレには以下の仕様があるが、本要領でいう「快適トイレ」とは、このうち「(1) 快適トイレに求める標準仕様」、「(2) 快適トイレとして活用するために備える付属品」を全て満たすものとする。

(1) 快適トイレに求める標準仕様【必ず実施】

- ① 洋式（洋風）便座
- ② 水洗機能（簡易水洗、し尿処理装置付きを含む）
- ③ 臭い逆流防止機能
- ④ 容易に開かない施錠機能
- ⑤ 照明設備
- ⑥ 衣類掛け等のフック付き、又は荷物置き場設備機能（耐荷重 5kg 以上）

(2) 快適トイレとして活用するために備える付属品【必ず実施】

- ⑦ 現場に男女がいる場合に男女別の明確な表示
- ⑧ 周囲からトイレの入口が直接見えない工夫
- ⑨ サニタリーボックス（女性用トイレに必ず設置）
- ⑩ 鏡と手洗器
- ⑪ 便座除菌シート等の衛生用品

(3) 推奨する仕様、付属品【より快適となるもの（任意）】

- ⑫ 室内寸法 900×900mm 以上（面積ではない）
- ⑬ 擬音装置（機能を含む）
- ⑭ 着替え台

- ⑮ 臭気対策機能の多重化
- ⑯ 室内温度の調整が可能な設備
- ⑰ 小物置き場等（トイレトペーパー予備置き場等）

4 実施方法

- (1) 発注者は、当初設計額70,000千円以上の試行対象工事を発注する場合は、設計図書に『建設現場に設置する「快適トイレ」の特別仕様書』を添付する。
また、当初設計額4,000千円以上70,000千円未満の試行対象工事を発注する場合は、設計図書に『建設現場に設置する「快適トイレ」の特別仕様書【受注者希望型】』を添付する。
- (2) 『建設現場に設置する「快適トイレ」の特別仕様書』の場合で、快適トイレの手配等の理由により設置が困難な場合は、打合せ簿により監督員と協議を行うものとする。
なお、設置をしない場合は、本要領によらず施工するものとする。
- (3) 『建設現場に設置する「快適トイレ」の特別仕様書【受注者希望型】』の場合で、快適トイレの設置を希望する場合、受注者は、施工計画書作成前に打合せ簿により監督員と協議を行うものとする。
なお、設置をしない場合は、本要領によらず施工するものとする。
- (4) 『建設現場に設置する「快適トイレ」の特別仕様書』又は上記(3)により設置する場合、受注者は、快適トイレを設置する旨を施工計画書に記載し監督員へ提出するものとする。また、様式1「快適トイレチェックシート」に必要事項を記入し、パンフレット等の資料とともに、監督員に提出するものとする。
- (5) 監督員は、提出された資料をもとに、様式1「快適トイレチェックシート」のチェックを行うものとする。
- (6) 受注者は、快適トイレを現場に設置した後、様式2「快適トイレ設置報告書」の電子データを監督員に提出するものとする。
- (7) 監督員は、快適トイレの設置状況を現場（やむを得ない場合は写真等により机上）にて「快適トイレチェックシート」によりチェックを行うものとする。
- (8) 受注者は、快適トイレに要した費用が確定したら、速やかに見積り等支払いの確認ができる証明書類を監督員に提出するものとする。
- (9) 監督員は、上記(7)により提出された書類をもとに、快適トイレ設置に要した費用を、変更設計に計上するものとする。（積算方法は「5 積算」による）
- (10) 監督員は、「快適トイレチェックシート」を設計図書に綴り保管するものとする。

5 積算

- (1) 快適トイレに要する費用は、当初設計に計上しない。
- (2) 受注者から提出された快適トイレに要した費用の見積り等証明書類をもとに、通常（従来型）トイレとの差額を変更設計に費用計上するものとする（以下の条件に注意）。
 - ① 差額は57,000円／基・月を上限とする。
 - ② 設置基数を現場毎に必要性を協議の上、決定する。
- (3) 費用の上限を超える場合は、現場環境改善費（率分）の営繕関係の対象としてもよい。
※現場環境改善費を当初計上していない場合であっても、現場環境改善費の率計上分を実施することが可能であれば、変更時に現場環境改善費を計上することができる。

6 配慮すべき事項

建設現場で働く女性の活躍をサポートする取組として、快適トイレを導入する際は、以下の(1)～(8)に配慮することとする。

(1) 原則

女性が現場にいる場合は、女性トイレを設置することを標準とする。

(2) 全般

女性トイレの設置にあたっては、あらかじめ、建設現場で働く女性の意見を聞く。

(3) 設置位置

女性トイレと男性トイレや喫煙所は隣接して設置せず、一定の距離を確保する。

(4) 動線の配慮

男性トイレと女性トイレは、入口を分ける等の動線の配慮をする。

(5) ドアの向き

女性トイレのドアは、開けたら真正面ということの無いよう、便座と直角の向きのドアを採用する等の工夫をする。

(6) 照明

窓の大きさに応じて、中にいる人のシルエットが窓に映りこむことのないよう、照明をスポットライト式にする等の工夫をする。

(7) 室温

トイレ内の室温を快適に保つため、冷暖房、扇風機等の設備を備え付ける等の配慮をする。

(8) 性別の撤廃

混雑等を理由に、男性が女性トイレを使用することのないよう徹底する。